

社会人向け講座 すみだ・千葉大学 デザインスクール



「デザイン」とは、
人の暮らしをより豊かなものへとする
科学的かつ実践的行為です。

たとえば、人々の生活や社会の中に埋もれているニーズ
や潜在的な可能性を観察・分析し、活用可能な資源や文
脈的価値に着目したうえで、新たな価値や仕組みを創出
していく行為などが挙げられます。

コースⅠ デザインにつかう評価・分析・発想入門

コースⅡ まち歩きによる地域の魅力の再発見



このようなデザインの「課題発見・課題解決」「資源発
見・資源活用」のプロセスは、地域課題の発見や地域資
源の掘り起こしなどにも有効であり、墨田区に関わり
のある方がこれらの知識を得ることで、企業・自治会など
のさまざまな場において地域貢献活動等（社会課題の解
決への参加、公民学などが連携したプロジェクト発足な
ど）が活性化することが期待されます。

こうしたデザインの考え方を学んでいただくため、千葉大
学デザイン・リサーチ・インスティテュート（d r i）に
おいて、日々研究・実践している多様なデザインについ
て、内容の異なる二つのコースを開講します。

実施機関

- 千葉大学
デザイン・リサーチ・インスティテュート(dri)
- 墨田区(運営協力)

受講資格

次の①から④の全てに該当する者

- ①墨田区内在住者…企業・団体等に勤務する方
墨田区外在住者…墨田区内の企業・団体等に勤務する方
- ②地域の課題発見や資源発掘に興味があり、その対応手法のひとつであるデザインの知識習得やその実践を行う意欲を持つ方
- ③原則として、各コースにおける全講義・実習に参加できる方
- ④受講後、自身が所属する企業・団体等の協力を得て、新規事業創出に積極的に関与できる方

※受講生の学歴、職歴に関する要件はありませんが、暴力団及びこれに準ずる団体に関わる者は参加できません。
※都合等で参加できない講義がある場合は、事前に連絡をいただく必要があります。

定員

コースⅠ 先着 20名 コースⅡ 先着 20名

受講料・教材費

無料

※ただし、受講においてはノートと筆記用具をお持ちいただきます。

受講申込み

募集期間

令和7年7月25日(金)～令和7年8月17日(日)

申込方法：LoGoフォームによる事前申し込み
右側の二次元コードから読み取り、
アクセスをお願いします。



その他 コースⅠ または コースⅡ のどちらか、あるいはコースⅠとコースⅡの両方に申し込むことができます。先着順となりますので、定員に達し次第締め切ります。

受講決定通知

先着順で受講を決定し、墨田区企画経営室から電子メールにて連絡します。なお、定員超過等により受講できない場合もお知らせします。

実施期間等

コース共通

原則隔週金曜日 午後6時30分～午後8時30分

コースⅠ (全8回):令和7年9月5日(金)～令和7年12月12日(金)

コースⅡ (全10回):令和7年9月12日(金)～令和7年12月19日(金)

※コースⅡの令和7年9月13日と令和7年10月4日は土曜日実施(時間未定)

実施場所

- 千葉大学墨田サテライトキャンパス
3階 ラーニングスペースA

東京都墨田区文花一丁目19番1号

問合せ先

墨田区企画経営室行政経営担当

TEL 03-5608-6230

Email GYOUSEI@city.sumida.lg.jp

修得目標

受講者自身が社会参画の必要性・重要性を再認識するとともに、協働して見出した地域課題・社会課題等の解決、ならびに、地域資源の活用を図るデザインの方法論を修得します。

講義内容・講義題目・担当講師

コースⅠ

- 本コースは、デザインという創造的な「行為」に着目した「デザイン科学」を中心に概説します。具体的には、デザイン行為に用いられる思考である評価、分析、および発想、想定する場を含む「状態」の概念、これらを包含したデザイン理論の基礎を説明します。また後半では、デザイン科学を視点としたモノ・コトに対するイメージ・印象の可視化に有用な統計解析手法を用いた演習も予定しています。
- これらを通じて、「課題発見・課題解決」に対する基本的なアプローチ方法を理解していただきます。

担当：佐藤浩一郎(准教授/材料計画研究室)、スチューデント・アシスタント(SA)

- ① 令和7年9月5日(金) デザイン科学基礎Ⅰ デザインにおける「デザイン学とデザイン科学」
- ② 令和7年9月19日(金) デザイン科学基礎Ⅱ デザイン行為に用いる「思考」と「知識」
- ③ 令和7年10月3日(金) デザイン科学基礎Ⅲ デザインで想定する「場」の概念
- ④ 令和7年10月17日(金) デザイン科学基礎Ⅳ デザイン行為を表現する多空間デザインモデル
- ⑤ 令和7年10月31日(金) デザイン科学演習Ⅰ 評価手法:基礎統計量、SD法など
- ⑥ 令和7年11月14日(金) デザイン科学演習Ⅱ 分析・発想手法:統計解析、Mメソッドなど
- ⑦ 令和7年11月28日(金) デザイン科学演習Ⅲ 発表準備
- ⑧ 令和7年12月12日(金) デザイン科学演習Ⅳ 成果発表

コースⅡ

- 本コースは、グループワーク形式で実施し、2回の街歩きと8回のディスカッション・制作により構成されます。
- 5人程度のグループを編成し、まち歩きにより発見した地域の魅力を抽出・整理し、最終的には発見した魅力を活用したデザイン提案を行います。一部はマップや出版物などに編集して発表することを予定しています。
- これらを通じて、デザイン的な観点から地域を見直して「資源発見」を行うことに基づき、「資源活用」を図る力を養います。

担当：植田憲(教授)・青木宏展(助教)(デザイン文化計画研究室)

スチューデント・アシスタント(SA)

- ① 令和7年9月12日(金) オリエンテーション、グループごとの活動計画立案
- ② 令和7年9月13日(土) デザインサーベイ:街歩きによる地域の魅力探し1
※参加必須(時間は未定)
- ③ 令和7年9月26日(金) 発見した魅力の抽出(カードづくり)1
- ④ 令和7年10月4日(土) デザインサーベイ:街歩きによる地域の魅力探し2
※参加必須(時間は未定)
- ⑤ 令和7年10月10日(金) 発見した魅力の抽出(カードづくり)2
- ⑥ 令和7年10月24日(金) 発見した魅力の整理(カードのまとめ)
- ⑦ 令和7年11月7日(金) 発見した魅力を活用した提案の導出
- ⑧ 令和7年11月21日(金) 発表準備
- ⑨ 令和7年12月5日(金) 発表準備
- ⑩ 令和7年12月19日(金) 成果発表

研究成果発表展における発表

成果発表の内容は、令和8年3月上旬(日時未定)に墨田サテライトキャンパスで開催される研究成果発表展(open dri)においても発表(展示)予定です。